

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化財保護推進事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	10	05	11	01 02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の文化財	意図	市内の文化財の保護と活用。
事業内容	文化財審議会の開催。指定文化財等への補助金の交付。指定・登録候補文化財の調査、市内の埋蔵文化財試掘。遺跡見学会の開催等。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度の機構改革により、生涯学習課文化財保護係に代わり博物館学芸係が担当している。市指定無形民俗文化財の継承のため補助金の交付をしてきた。指定文化財の経年変化や損壊に対応するため、平成22年度から指定文化財の修理補助金の交付を開始した。また平成24年度には、国・県指定文化財及び国登録文化財への補助事業を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	新たに指定登録された文化財数	1	4	0	
②	埋蔵文化財照会処理件数	1,228	1,266	1,620	件	→→	
③	指定・登録候補文化財の調査件数	4	2	2	点	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	国登録・市指定有形文化財（建造物）が集中する流山旧市街の活性化					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・TX沿線整備事業の進捗に伴い埋蔵文化財の照会処理件数が増加した。 ・指定に向けた閻魔堂の仏像調査や取り壊された旧料亭矢葉喜の建造物調査と記念物指定のため樹木調査を実施。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,316,823	13,280,019	14,042,265			
事業費(b)(円)		233,723	2,915,019	2,747,265			
うち一般財源		142,723	2,915,019	2,747,265			
職員給与と費(c)(円)		9,083,100	10,365,000	11,295,000			
人役・職員(人)		1.30	1.50	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市指定・国登録有形文化財や市指定記念物の積極的な指定を行う。	③取組の課題	市域全体を視野に入れ、偏りのない文化財の指定と保存・保護すべき文化財の適正な選定。
②今年度(H27)に実施した取組	指定に向け有形文化財や記念物の調査を行った。	④今後の改善計画	登録・指定候補文化財の調査を適切に計画的に行い、文化財審議会に諮る。